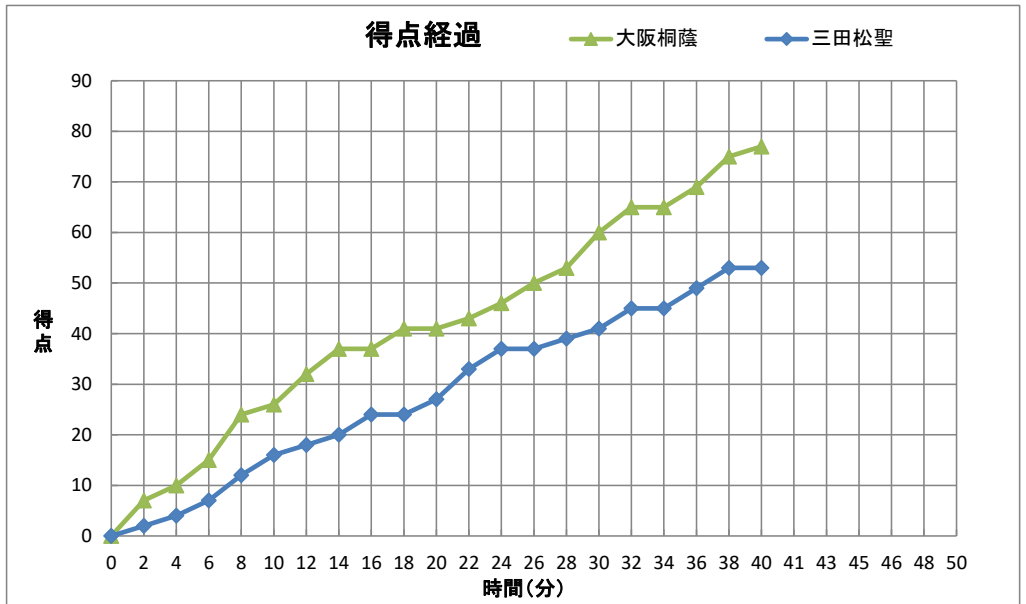




令和3年度  
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		6月26日				16:30 開始															
準々決勝						A															
◎ 大阪桐蔭		77		<table border="1"> <tr><td>26</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>12</td></tr> </table>		26	1st	16	15	2nd	11	19	3rd	14	17	4th	12	53		三田松聖	
26	1st	16																			
15	2nd	11																			
19	3rd	14																			
17	4th	12																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
4	向山 琴七	0	0	0	0	1	2	野下 愛未	-	-	-	-	-								
5	岡田 紗利奈	-	-	-	-	-	3	瀬戸 三央奈	0	0	0	0	0								
* 6	寺岡 美祈	12	4	0	0	3	13	竹中 凜	-	-	-	-	-								
* 7	石原 若葉	24	4	6	0	4	* 15	森本 愛彩	12	0	5	2	4								
* 8	山本 雪鈴	9	0	1	7	2	17	柴原 史羽	-	-	-	-	-								
9	村松 伶美奈	-	-	-	-	-	* 22	平田 まどか	0	0	0	0	0								
* 10	北之防 希光	10	0	5	0	3	* 23	米倉 歌音	7	0	3	1	2								
11	森本 陽女	-	-	-	-	-	25	馬場 柚樹	2	0	1	0	4								
* 12	北條 瑚奈	20	4	3	2	1	28	小西 彩央	-	-	-	-	-								
13	片山 朋子	0	0	0	0	0	29	魚住 夏鈴	-	-	-	-	-								
14	池田 優愛	-	-	-	-	-	* 35	石岡 莉采	13	0	6	1	3								
15	洪 有純	2	0	1	0	0	42	渡部 陽愛	0	0	0	0	0								
16	木村 采里	-	-	-	-	-	52	小林 雛子	0	0	0	0	2								
17	田中 志歩	-	-	-	-	-	85	初谷 一葉	-	-	-	-	-								
18	石井 美南	0	0	0	0	0	* 87	森口 晴天	19	0	7	5	2								
コーチ	森田 久鶴					0	コーチ	初谷 洋志					0								
Aコーチ	永井 雅彦						Aコーチ	有川 亨													
合計		77	12	16	9	14	合計		53	0	22	9	17								
主審: 小出 聡子 副審: 赤井 正史 副審: 川勝 麻弥																					



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	15:00	:	22:46	34:13	:	:	:	:
TeamB	12:05	:	32:45	38:24	:	:	:	:

〔戦評〕

第1Q、大阪桐蔭はオールコートマンツーマンプレスから流れに乗り、速いパス回しからシュートチャンスを作る。多彩な攻撃をもつ大阪桐蔭は、#8山本のドライブや#12北條・#6寺岡の3Pから得点を重ねる。一方、三田松聖も#87森口のインサイドや、#15森本のドライブなどで大阪桐蔭に食らいつく。しかし、なかなか大阪桐蔭の厳しいディフェンスを崩せないまま、26-16で終了。

第2Q、三田松聖#23米倉の得点で先制するものの、大阪桐蔭の#6寺岡・#7石原の3Pが2本連続決まり、その後、三田松聖はターンオーバーからたまたまタイムアウト。タイムアウト後、三田松聖はゾーンをしかけるが、大阪桐蔭の#6寺岡が3Pを落ちて決めて。三田松聖も、#35石岡のドライブや#87森口のインサイドの連続得点などで食らいつくが、桐蔭の変則的な厳しいディフェンスのプレッシャーが続く。三田松聖も、ディフェンスでボールを追いかけプレッシャーを与えるが、大阪桐蔭の#7石原や#10北之防が落ちて得点を重ね、41-27で前半終了。

第3Qは、三田松聖が#35石岡・#23米倉のドライブ、#87森口のリバウンドシュートで大阪桐蔭のファールを誘い、フリースローを決め得点する。開始2分半でチームファールを積んだ大阪桐蔭に、攻撃を続ける三田松聖は#23米倉が落ちて得点し、6点差まで詰める。大阪桐蔭はたまたまタイムアウト。ここから、大阪桐蔭は1-2-2のゾーンでさらにディフェンスでプレッシャーを強め、三田松聖はリズムを崩し、得点が止まる。その間に、大阪桐蔭は#7石原の3Pや#8山本・#12北條のドライブ・#6寺岡の3Pなど多彩な攻撃から得点を重ね、引き離す。第3Q、61-41で終了。

第4Q、三田松聖は#15森本のジャンプシュートや、#23米倉のパスから#87森口の合わせなどで得点する。両者、一進一退の攻防を続ける。三田松聖は、ボールを追いかけ回し必死にディフェンスするが、大阪桐蔭は速いパス回しやドライブから作られたズレを確実に得点し、大阪桐蔭が77-53で逃げ切り、ベスト4進出を果たした。